

この社会 あなたの税が生きている

**確定申告と納税は
二月十六日から
三月十五日までです**

昭和六十三年分の所得税確定申告は、二月十六日から始まります。申告期限間近になると、税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくようになりかねませんので、申告はできるだけ早めに済ませましょう。

確定申告をしなければならぬのに申告をしなかつたり、誤った申告をしたりと、後で不足の税金を納めるだけでなく、無申告加算税または過少申告加算税が課せられますので注意してください。

所得税の納税方法に、銀行などの預金口座から振り替えによって納税する制度があります。納税のための手間がかからず、また納期限をうっかり忘れてしまうこともなくなります。ぜひ、

ご利用ください。

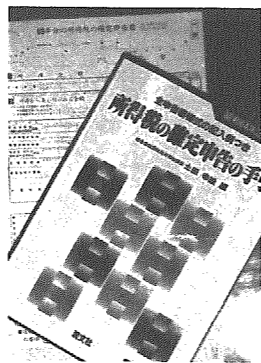
**どんな場合
確定申告を？**

次のような場合は、確定申告をしなければなりません。

●事業をしている場合、不動産収入のある場合、土地や建物を売った場合などで、昭和六十三年中の所得金額の合計額が、基礎控除、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除などの所得控除の合計額を超えるとき。

●サラリーマンで、給与の年収が千五百万円を超える場合で、給与所得や退職所得金額以外の所得金額の合計額が二十万円を超えるとき（たとえば、会社に勤めて給与をもらうほか、農業所得が二十万円を超える場合など）。

なお、確定申告をする必要のないサラリーマンでも、雑損控除（火災や盗難などで被害を受けたとき）や医療費控除、住宅



2月16日から所得税の確定申告が始まります。お早めに。

お知らせ

村水道公認業 申請の手続きは

岩室村の水道公認業者の指定を受けようとする業者は、次により申請手続きをしてください。

【申請に必要な書類】

①指定申請書 ②責任技術者資格確認申請書 ③誓約書 ④給水工事技術者名簿 ⑤工事経歴書 ⑥身分証明書 ⑦資産証明書および納税証明書 ⑧所有機器証明書——などです。なお、資格要件については、「岩室村公認水道工事業業者規定」によります。

【書類の提出先と問合せ】
岩室村企業課（夏井浄水場内・☎82-3150）へ。

取得特別控除などを受けるときは、確定申告の始まる二月十六日以前でも受け付けていますので、早めに還付申告をしてください。

また、還付を受けるために確定申告をする場合には、給与所得以外の所得金額が二十万円以下であっても、これを含めて申告しなければなりません。

**もっとも身近な
住民税の申告**

ところで、所得税は国へ納める税金ですが、わたしたちに最も身近で直接村に入る税が住民税（個人村民税）です。

そのため、村では確定申告の納税相談に併せ、住民税の申告相談（共同納税相談）を行います。相談日程は後日配布する「共同納税相談のお知らせ」をご覧ください。なお、詳しいことは巻末の「住民税」をご覧ください。

税務署 ☎72-1355 か役場税務課 ☎82-4111 内線一三六へお問い合わせください。

新1年生は125人



もうすぐ1年生

もうすぐ春ですね。夢と期待に胸ふくらむ小学校の入学式まであとわずか。ことし村内の三小学校に入学する新1年生は百二十五人。そこで今号では、ひと足早く、新1年生になる子供たちをご紹介しましょう。

地区名	児童名	児童名
金池	山上 誠一	五十嵐重実
石瀬	有坂 芳恵	三富 沙織
岩室	桑原 雅俊	渡邊美恵子
	波辺 拓也	岡崎真実子
	石添嗣好史	近藤 将太
	後藤 真俊	堀越美由紀
	笹崎 人資	堀越美由紀
	堀越 健二	
	森口 和哉	
	岡崎 将一	
樋曾	渡辺智納美	本間 直人
柴	草野 陽介	齋藤 裕之
	谷井 亮	藤田 寛子
橋本	組野 薫	
久保田	鈴木 学	
猿ヶ瀬	後藤 成人	
南谷内	鈴木 英徳	
夏井	阿部 知織	阿部 芳子
	遠藤 拓也	遠藤 穂高
	大治美江子	鈴木奈緒子
	山上 沙織	山上 真吾
	山上まゆみ	

地区名	児童名	児童名
西中	竹内つばさ	吉谷 徳
湯上	瀬戸川純一	
白鳥	成田 幸仁	渡邊亜希子
横曾根	成田 和也	成田佳奈美
西船越	大森 勇輔	川村美代子
	竹内 健介	
新高	富澤 直樹	中野 由貴
高畑	荒井 恵美	中村 望
	中村 宗幸	藤田 好美

地区名	児童名	児童名
和納3区	濱村 直弘	
和納4区	石川 美樹	
和納5区	荒川 恵衣	
和納6区	赤川 仁一	田中 美幸
和納7区	田中 豊	若杉 里恵
和納8区	井上 大輔	
和納9区	川上 将和	早川 真紀
和納10区	本田 雅美	
和納11区	池上 陽子	竹内 秀
和納12区	山田 直人	

第4回 みなさんのご意見をお聞かせください
岩室村生涯学習推進研究集会

岩室村はいま、「生涯学習村」をめざしています。そのため村では、生涯学習を可能にするための環境や諸条件の整備などを積極的に進めていくことにしています。加えて大切なことは村民一人一人の「学習への意欲」にあると思います。

本年度は、三つの生涯学習プログラムを試行してみました。これに参加した人、参加できなかった人、関心のなかった人、いろいろであったでしょう。今年の生涯学習推進研究集会は、こんな様々な立場からの意見を出し合い、「みんなが進める生涯学習」を大いに語る機会にしたいと考えています。

いまから、予定されるなどして多数のみなさんの参加をお待ちいたしております。

■期 日……三月四日（土曜日）
■時 間……午後一時～四時
■会 場……岩室村公民館
■分 散 会……①生涯学習と私 ②おらが村 岩室ふるさと講座 ③村おこしふるさと講座
④村民一人一スポーツ事業 ⑤学校教育と社会教育の接点をさぐる ⑥ボランティア活動と私 ⑦地域・家庭の教育力を高めるため ⑧歴史民俗資料館の運営と活用
■参 加……話し合いに加わりたい分散会のところへ参加してください。
■問 合 せ……生涯学習推進本部事務局（岩室村公民館・☎82-1444）へどうぞ。